

令和5年7月26日
置賜総合支庁

「食品ロスを減らそう！」フードドライブを実施します（置賜総合支庁）

日本では、年間523万トンの食品ロスが発生しています（令和3年度）。これは、国民一人あたり毎日おにぎり1個分（114g）の食品を捨てている計算になります。

環境や食料問題の観点から、2030年までに食品ロスを半減することを目標として、県では第三次山形県循環型社会形成推進計画に基づき取組みを進めています。この取組みの一環として、置賜総合支庁では、一般県民を対象としたフードドライブ^{*}を実施します。

つきましては、事業の周知と取組みの取材について、御協力くださるようお願いいたします。

※ フードドライブ

家庭で使わずに眠っている食品を職場などに持ち寄り、フードバンク（支援を必要としている方に食料を提供する団体）等に寄付する活動

記

1 日時・場所

- (1) 令和5年8月29日（火）午前8時～午後4時 置賜総合支庁1階ロビー
- (2) 令和5年8月30日（水）午前8時～午後4時 西置賜地域振興局総合案内窓口
（正面玄関を入れて左側の部屋）

※環境課職員が食品をお預かりします

2 対象

常温保存可能で、未開封かつ賞味期限が令和5年10月以降のもの

（例）インスタント食品、レトルト食品、缶詰、瓶詰、乾物（海苔など）、ふりかけ、調味料（しょうゆ、みそ、砂糖、食用油など）、お菓子、飲料（ジュース、お茶、水など）※アルコール飲料を除く、ギフトセット（お歳暮など）、お米（2021年産以降）、乾麺、餅、粉ミルク

3 集まった食品の寄付

集まった食品は特定非営利活動法人えき・まちネットこまつ^{*}を通して、食の支援を必要としている世帯等に提供します。

9月4日（月）の午後2時から、置賜総合支庁2階の「応接室」において贈呈式を行う予定です。

（次ページにつづく）

【特定非営利活動法人えき・まちネットこまつ】

J R羽前小松駅を拠点とし、行政や学校など多様な団体との協働により、地域住民主体のまちづくりや地域づくりを推進する団体。

公共交通サービス機能、コミュニティー機能、まちの窓口機能、地場製品の販売機能を担うと共に、地域住民の教養向上や生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与している。

会員である県立置賜農業高校の生徒である会員が活動の一環としてフードドライブや子ども食堂活動を行っている。

【問い合わせ先】

理事長 江本 一男

電話：0238-42-2533

ホームページ

<http://www.npo-ekimachi.org/>



4 その他

取材いただける場合は取材日前日の午後4時まで下記問い合わせ先まで御連絡ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【問い合わせ先】

置賜総合支庁保健福祉環境部環境課

課長補佐 神田

TEL：0238-26-6034

報道監 総務企画部長 佐々木秀徳